

小麦栽培情報 1月号

令和3年12月14日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 生育概況

小麦の播種は、11月下旬を中心に行われました。11月22日および30日に降雨があり、生育は順調に進んでいます。ほ場ごとの生育状況を確認し、適期管理に努めましょう。

2 施肥

穂数の確保と穂の充実のため、追肥は **1月下旬頃** に実施します。施用時期が遅れると倒伏や成熟期の遅れを招きます。

(kg/10a)

	品種名	1月下旬		穂揃期	
		肥料名	施用量	肥料名	施用量
水稻後	シロガネコムギ	麦追肥一発1号	40	—	
	ミナミノカオリ	硬質小麦用追肥3004	40	硫安	10
大豆後	シロガネコムギ	麦追肥一発1号	30	—	
	ミナミノカオリ	硬質小麦用追肥3004	30	硫安	10

※ 穂揃期追肥を尿素の葉面散布で行う場合、10a 当たり尿素 5kg を水 100L に溶かして散布します。ただし、高温時の散布や、尿素の濃度が高いと、葉焼けの程度が激しくなるため注意します。

3 麦踏み・土入れ

●麦踏み

麦踏みは、小麦の分げつ促進や耐寒性の強化、倒伏防止等の効果があります。麦3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに**3～5回程度実施**します（生育に応じて麦踏みの晩限は前後します）。作業に際してほ場が湿っていると、土壌を締めつけて、生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

●土入れ

土入れは、倒伏防止や雑草の抑制、排水対策等の効果があります。1月上中旬頃から3月上旬にかけて**2～3回程度実施**します。また、追肥後に行うと肥効が安定します。土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、土入れは麦の生育に応じて土の量を増やし、麦踏み前に実施します。麦踏み直後は避け、麦が土に埋もれないようにします。

4 雑草防除

発生している雑草の草種に合う薬剤の選択が重要です。ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に雑草防除に取り組みましょう。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

既に、ハーモニー細粒剤 F を使用したほ場では、ハーモニー75DF は使用できません。

薬剤名	適用雑草	使用時期	10a 使用量	備考
ハーモニー 75DF	スズメテッポウ、 一年生 広葉雑草	播種後～節間伸長前	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーモニー細粒剤 F とハーモニー 75DF はいずれか 1 回しか使用できない ・<u>タネ類</u>に効果が高い
	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期～ 穂ばらみ期まで (収穫 45 日前まで)	3～10g (水 100L)	
エコパート フロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで (広葉雑草：2～4 葉期) (ヤムガラ：2～6 節期) (収穫 45 日前まで)	50～100ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ヤムガラ</u>に効果が高い ・カラスノエンドウへの効果は劣る ・茎立期以降は使用しない
アクチノール B 乳剤	一年生 広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	100～ 200ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>カラスノエンドウ</u>に効果が高い ・高温時は薬害を生じやすいため注意する
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	小麦の生育期 (収穫 45 日前まで)	100～ 200ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>キボウカ</u>類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い

・農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（農薬基準）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！

・県では、様々な収入減少リスクに対する備えとして、収入保険への加入を勧めています。